

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-31	講座名	樹木博士 衣食住の森のめぐみを考えてみよう
記載日		団体名・企業名	森林インストラクター会“愛”
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>多様な観察樹木を10種ほど選定し、観察しながら写真やサンプルなどの資料を参考に特徴、用途などを解説し、それらから衣食住で、どのような恩恵をうけているか、森の虫や小動物にどのように関わっているか等を楽しく学ぶ。1, 3回は屋外で実施、2回目は屋内で樹木の夫々の用途を考える中でシュロを取り上げ様々な生活用品を作ってみる。</p>			
9/13 名城公園	①コロナ禍で参加者は少なかったが、楽しんで観察し知らなかったことを学んだと好評でした ②屋内クラフトで事前申し込みは少なかったが、当日参加者が増え親子孫で楽しまれた ③緑地はイベントで人多く、kid's コーナーも併設大盛況でした		
10/31 モリコロパーク			
11/8 大高緑地			
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>3回3様の内容でした 名城公園では行楽客自体が少なく、コロナの影響でやむを得ないのかと感じながら感染対策をとり実施。 モリコロパークは午前は屋外で過ごし午後は屋内で過ごす人が多いことが分かり次回計画には反映させたい 大高緑地は「サマライジングフェスティバル」で人が多く集まり、当日参加者用に急遽kid's コーナーを作り樹木のクラフト作りは大盛況で成功でした</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>知らなかった樹木の事を知れてよかった、知る機会が無かったのでうれしかった どんぐりがこんなに種類があることを知らなかった、こんな使い道があるのかと知った 何気に通過していた公園や森を歩くことが楽しくなった シュロは見たことあるがこんなに、色々できるのかと分かった</p>			